

Contact:

東京

栗野 幸子

主任格付アナリスト／アナリスト

サブソブリン・グループ

ムーディーズ・ジャパン株式会社

お客様専用電話番号：03-5408-4100

報道関係者電話番号：03-5408-4110

東京

セメトコ 真理子

格付責任者／アソシエイト・マネージング・ディレクター

コーポレート・ファイナンス・グループ

ムーディーズ・ジャパン株式会社

お客様専用電話番号：03-5408-4100

報道関係者電話番号：03-5408-4110

[MJKK] 日本の12の政府系発行体の格付を確認、見通しは安定的

2025年12月12日、東京、ムーディーズ・ジャパン株式会社（以下「ムーディーズ」）は、日本の12の政府系発行体の格付A1を確認した。格付見通しは安定的を維持する。

以下の12の政府系発行体の格付を確認した。

中日本高速道路株式会社

東日本高速道路株式会社

株式会社国際協力銀行

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

株式会社日本政策金融公庫

地方公共団体金融機構

独立行政法人住宅金融支援機構

独立行政法人国際協力機構

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

首都高速道路株式会社

独立行政法人都市再生機構

西日本高速道路株式会社

今回の格付アクションの対象となる格付は、本プレスリリースの末尾に記載されている。

格付理由

今般確認された格付と引き続き安定的という見通しは、日本政府（A1 安定的、2025年10月に確認）（注）のソブリン格付と同水準である。これは、日本政府とこれら12の政府系発行体との非常に強い結びつきが、高市新政権下でも継続するというムーディーズの予想を反映したものである。

（注：当該格付は、ムーディーズ・グループの格付ではあるが、金融商品取引法上の登録を受けた信用格付業者の格付ではない。）

ムーディーズは、政府系発行体が重要な政策的役割を果たすことや、政府からの高水準の信用補

完ならびに事業への強い関与が継続することに鑑み、政府系発行体の信用力は政府の信用力を反映すると評価している。従って、政府系発行体の監督を担う日本政府と政府系発行体双方に認められる強いガバナンスの存在が、両者の間に強い結びつきがあること、それに政府系発行体の格付が政府と同水準であることを支えている。

ムーディーズは、これらの政府系発行体の事業が政府の政策と高度に統合されていることから、格付に際してベースライン信用リスク評価を用いないアプローチをとっており、これらの発行体は実質的に政府の政策を担う機関であると考えている。

環境・社会・ガバナンスに関する考慮事項

環境リスクは、政府の戦略的役割を担っていることや日本政府との強い結びつきを考慮すると、政府系発行体の格付にとって重要な考慮事項ではない。日本の環境要因の考慮事項には、自然災害による経済活動の中断や復興・再建のための多額の財政支出が必要となるというような、物理的な気候リスクへのエクスポージャーが含まれる。

社会リスクは、政府の戦略的役割を担っていることや政府との強い結びつきを考慮すると、政府系発行体の格付にとって重要な考慮事項ではない。日本の社会要因の考慮事項には、人口高齢化と国内の生産年齢人口の減少による潜在成長率の下押し要因が含まれる。

ガバナンス・リスクは政府系発行体の格付にとって重要な考慮事項である。政府系発行体のガバナンスは、健全なガバナンスの枠組みにより政府と本質的に結び付いており、政府の強い監督の下、政府が最終的に重要な決定を行う。

将来の格上げあるいは格下げにつながる要因

政府系発行体が格上げされるためには、日本国債の格上げが必要である。

逆に日本国債が格下げされた場合、政府系発行体の格下げにつながる。さらに、政府/地域・地方政府出資比率の引き下げ、または設立根拠法の改正に示される政府系発行体の政策上の重要性の低下といった、日本政府との密接な関係を弱めるような政策変更が行われた場合、格付に下方圧力が加わる。

確認の対象となった発行体と格付は以下の通り。

発行体：中日本高速道路株式会社

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…信用補完付シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保発行登録格付（自国通貨建）：(P)A1を確認

…信用補完付シニア無担保MTNプログラム格付（自国通貨建）：(P)A1を確認

…信用補完付シニア無担保債務格付（外貨建）：A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：東日本高速道路株式会社

…発行体格付（外貨建）：A1を確認

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…信用補完付シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保発行登録格付（自国通貨建）：(P)A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：株式会社国際協力銀行

…発行体格付（外貨建）：A1を確認

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認 *旧国際協力銀行の承継債務を含む

…信用補完付シニア無担保債務格付（外貨建）：A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

…発行体格付（外貨建）：A1を確認

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認 *日本道路公団の承継債務を含む

…信用補完付シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：株式会社日本政策金融公庫

…発行体格付（外貨建）：A1を確認

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保発行登録格付（自国通貨建）：(P)A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：地方公共団体金融機構

…発行体格付（外貨建）：A1を確認

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認

…シニア無担保MTNプログラム格付（自国通貨建）：(P)A1を確認

…シニア無担保債務格付（外貨建）：A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：独立行政法人住宅金融支援機構

…発行体格付（自国通貨建）：A1を確認

…見通し：安定的を維持

発行体：独立行政法人国際協力機構

... 発行体格付（外貨建）：A1を確認
... 発行体格付（自国通貨建）：A1を確認
... シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認
... 信用補完付シニア無担保債務格付（外貨建）：A1を確認
... 見通し：安定的を維持

発行体：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

... 発行体格付（自国通貨建）：A1を確認
... シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認
... 見通し：安定的を維持

発行体：首都高速道路株式会社

... 発行体格付（自国通貨建）：A1を確認
... 信用補完付シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認
... シニア有担保発行登録格付（自国通貨建）：(P)A1を確認
... 見通し：安定的を維持

発行体：独立行政法人都市再生機構

... 発行体格付（自国通貨建）：A1を確認
... シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認
... 見通し：安定的を維持

発行体：西日本高速道路株式会社

... 発行体格付（自国通貨建）：A1を確認
... 信用補完付シニア有担保債務格付（自国通貨建）：A1を確認
... シニア有担保発行登録格付（自国通貨建）：(P)A1を確認
... 見通し：安定的を維持

本格付に利用された主な格付手法は、弊社ウェブサイト (<https://ratings.moodys.com/japan/ratings-news>) の「格付手法」に掲載されている「政府系発行体」（2025年6月）である。

主な格付手法に基づき格付要因のスコアまたはスコアカードの結果に適用された調整があった場合、その総合的な効果は本稿で言及する格付に重大な影響を及ぼさなかった。

中日本高速道路株式会社（本社：愛知県）は、日本政府の全額出資を受けている。

東日本高速道路株式会社（本社：東京）は、日本政府の全額出資を受けている。

株式会社国際協力銀行（本社：東京）は、日本政府の全額出資を受けている。

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（本社：神奈川県）は、日本政府および地域・地方政府の全額出資を受けている。

株式会社日本政策金融公庫（本社：東京）は、日本政府の全額出資を受けている。

地方公共団体金融機構（本社：東京）は、地域・地方政府の全額出資を受けている。

独立行政法人住宅金融支援機構（本社：東京）は、日本政府の全額出資を受けている。

独立行政法人国際協力機構（本部：東京）は日本政府の全額出資を受けている。

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（本社：神奈川県）は、日本政府の全額出資を受けている。

首都高速道路株式会社（本社：東京）は、日本政府および地域・地方政府の全額出資を受けている。

独立行政法人都市再生機構（本社：神奈川県）は、日本政府および地域・地方政府の全額出資を受けている。

西日本高速道路株式会社（本社：大阪府）は、日本政府の全額出資を受けている。

規制開示

本格付に利用した主要な情報の概要及び情報の提供者は、本格付に関与した関係者（発行体）、公表情報、ムーディーズが有する機密情報である。

情報の品質を確保するためムーディーズは、公表された情報や第三者による見解を利用し、主任格付アナリストによる確認を行う措置をとった。

ムーディーズ・ジャパン株式会社は日本の金融庁に登録された信用格付業者（金融庁長官（格付）第2号）である。直近1年以内に講じられた監督上の措置はない。

信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の将来の相対的信用リスクについてのムーディーズの現時点の意見である。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産上の損失と定義している。信用格付は、流動性リスク、市場価値リスク、価格変動性リスク及びその他のリスクについて言及するものではない。信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではない。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付もしくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、（明示的、黙示的を問わず）いかなる保証も行っていない。発行体又は債務の信用リスクは、発行体から入手した情報、又は公開情報に基づき評価される。ムーディーズは、信用格付を付与する際に用いる情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じている。しかし、ムーディーズは監査を行うものでは

なく、格付の過程で受領した情報について常に独自に確認することはできない。ムーディーズは、必要と判断した場合に本格付を変更することがある。また、資料、情報の不足や、その他の状況により、本格付を取り下げることがある。

信用状態に関する評価の前提となる事項及び信用状態に関する評価の結果を示す等級を定めるために用いる基準が記載された「金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第36号イに定めのある格付付与方針等に関する事項」については弊社ウェブサイト (<https://ratings.moodys.com/japan/ratings-news>) の「方針」を参照されたい。

個別の信用格付についての追加的な規制開示については、弊社ウェブサイト (<https://ratings.moodys.com/japan/ratings-news>) 上の組織/案件名のページを参照されたい。

ムーディーズ・ジャパン株式会社
105-6222 東京都港区愛宕2-5-1
報道関係者電話番号：03-5408-4110
お客様専用電話番号：03-5408-4100

(C) 2025年 Moody's Corporation, Moody's Investors Service, Inc., Moody's Analytics, Inc. 並びに（又は）これらの者のライセンサー及び関連会社（以下総称して「ムーディーズ」といいます。）。無断複写・転載を禁じます。

ムーディーズの信用格付を行う関連会社により付与される信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の相対的な将来の信用リスクについての、ムーディーズの現時点での意見です。ムーディーズが提供又は使用可能とする資料、製品、サービス及び公開情報（以下総称して「資料」といいます。）は、ムーディーズの現時点における意見を含むことがあります。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約における財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由又は経済的損害（インペアメント）が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。ムーディーズの信用格付において言及された、契約における財務上の義務の類型に関する情報については、ムーディーズの刊行物である「格付記号と定義」の該当する箇所をご参照ください。信用格付は、流動性リスク、市場価値リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。信用格付、非信用評価（以下「評価」といいます。）及びムーディーズの資料に含まれているその他の意見は、現在又は過去の事実を示すものではありません。ムーディーズの資料はまた、定量的モデルに基づく信用リスクの評価及びMoody's Analytics, Inc. 及び/又はその関連会社が公表する関連意見又は解説を含むことがあります。ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、投資又は財務に関する助言を構成又は提供するものではありません。ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は特定の証券の購入、売却又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、特定の投資家にとっての投資の適切性について論評するものではありません。ムーディーズは、各投資家が、相当の注意をもって、購入、保有又は売却を検討する各証券について投資家自身で研究・評価するという期待及び理解の下で、信用格付を付与し、評価を行い、その他の意見を述べ、自社の資料を提供又は使用可能とします。

ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、個人投資家の利用を意図しておらず、個人投資家が投資判断を行う際にムーディーズの信用格付、評価、その他の意見又は資料を利用することは、慎重を欠く不適切な行為です。もし、疑問がある場合には、ご自身のフィナンシャル・アドバイザーその他の専門家にご相談することを推奨します。

ここに記載する情報はすべて、著作権法を含む法律により保護されており、いかなる者も、いかなる形式若しくは方法又は手段によっても、全部か一部かを問わずこれらの情報を、ムーディーズの事前の書面による同意なく、複製その他の方法により複製、リパッケージ、転送、譲渡、頒布、配布又は転売することはできず、また、これらの目的で再使用するために保管することはできません。明確化のために付言すると、ここに記載されるいかなる情報も、ソフトウェアプログラム若しくはデータベースの開発、改良、訓練又は再訓練のために使用することはできません。これには、人工知能、機械学習、自然言語処理ソフトウェア、アルゴリズム、方法論及び/又は型式が含まれますが、これらに限定されません。

ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、規制目的で定義される指標（ベンチマーク）としてのいかなる者による使用も意図しておらず、これらが指標（ベンチマーク）と見なされる結果を生じるおそれのあるいかなる方法によっても使用してはならないものとします。

ここに記載する情報は、すべてムーディーズが正確かつ信頼しうると考える情報源から入手したものです。しかし、人的及び機械的誤りが存在する可能性並びにその他の事情により、ムーディーズはこれらの情報をいかなる種類の保証も付すことなく「現状有姿」で提供しています。ムーディーズは、信用格付を付与する際に用いる情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであること（独立した第三者がこの情報源に該当する場合もあります）を確保するため、すべての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、信用格付の過程で又は自社の資料の作成に際して受領した情報の正確性及び有効性について常に独自に確認することはできません。

法律が許容する範囲において、ムーディーズ及びその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー及びサプライヤーは、いかなる者又は法人に対しても、ここに記載する情報又は当該情報の使用若しくは使用が不可能であることに起因又は関連するあらゆる間接的、特別の、派生的又は付随的な損失又は損害に対して、ムーディーズ又はその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー又はサプライヤーのいずれかが事前に当該損失又は損害（(a) 現在若しくは将来の利益の喪失、又は (b) 関連する金融商品が、ムーディーズが付与する特定の信用格付の対象ではない場合に生じるあらゆる損失若しくは損害を含むがこれに限定されない）の可能性について助言を受けていた場合においても、責任を負いません。

法律が許容する範囲において、ムーディーズ及びその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー及びサプライヤーは、ここに記載する情報又は当該情報の使用若しくは使用が不可能であることに起因又は関連していかなる者又は法人に生じたいかなる直接的又は補償的損失又は損害に対しても、それらがムーディーズ又はその取締役、役職員、代理人、代表者、ライセンサー若しくはサプライヤーのうちいずれかの側の過失によるもの（但し、詐欺、故意による違反行為、又は、疑義を避けるために付言すると法により排除し得ない、その他の種類の責任を除く）、あるいはそれらの者の支配力の範囲内外における偶発事象によるものである場合を含め、責任を負いません。

ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、信用格付、評価、その他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性又は特定の目的への適合性について、（明示的、黙示的を問わず）いかなる保証も行っておりません。

Moody's Corporation（以下「MCO」といいます。）が全額出資する信用格付会社であるMoody's Investors Service, Inc.は、同社が格付を行っている負債証券（社債、地方債、債券、手形及びCPを含みます）及び優先株式の発行者の大部分が、Moody's Investors Service, Inc.が行う信用格付意見・サービスに対して、信用格付の付与に先立ち、Moody's Investors Service, Inc.に対価を支払うことに同意していることを、ここに開示します。また、MCO及び「Moody's Rating」のブランド名（以下「Moody's Ratings」といいます。）の下で格付を公表するすべてのMCO関連会社は、Moody's Ratingsの信用格付及び信用格付過程の独立性を確保するための方針と手続を整備しています。MCOの取締役と格付対象会社との間、及び、Moody's Investors Service, Inc.から信用格付を付与され、かつMCOの株式の5%以上を保有していることをSECに公式に報告している会社間に存在し得る特定の利害関係に関する情報は、ムーディーズのウェブサイト ir.moody.com の「Investor Relations」にある「Corporate Governance」内の「Charter and Governance Documents」に、「Director and Shareholder Affiliation Policy」という表題で、毎年掲載されます。

ムーディーズSFジャパン株式会社、Moody's Local AR Agente de Calificación de Riesgo S.A.、Moody's Local BR Agência de Classificação de Risco LTDA、Moody's Local MX S.A. de C.V., I.C.V., Moody's Local PE Clasificadora de Riesgo S.A.、及びMoody's Local PA Clasificadora de Riesgo S.A.（以下総称して「ムーディーズのNRSROではない信用格付会社」といいます。）は、すべてMCOの間接的完全所有子会社である信用格付会社です。ムーディーズのNRSROではない信用格付会社はいずれも全米で認知された統計的格付機関（NRSRO）ではありません。

オーストラリア専用の追加条項：この文書のオーストラリアでの発行は、ムーディーズの関連会社であるMoody's Investors Service Pty Limited ABN 61 003 399 657（オーストラリア金融サービス認可番号336969）及び（又は）Moody's Analytics Australia Pty Ltd ABN 94 105 136 972（オーストラリア金融サービス認可番号383569）（該当する者）のオーストラリア金融サービス認可に基づき行われます。この文書は2001年会社法第761G条の定める意味の範囲内における「ホールセール顧客」のみへの提供を意図したものです。オーストラリア国内からこの文書に継続的にアクセスした場合、貴殿は、ムーディーズに対して、貴殿が「ホールセール顧客」であること又は「ホールセール顧客」の代表者としてこの文書にアクセスしていること、及び、貴殿又は貴殿が代表する法人が、直接又は間接的に、この文書又はその内容を2001年会社法第761G条の定める意味の範囲内における「リテール顧客」に配布しないことを表明したことになります。ムーディーズの信用格付は、発行者の債務の信用力についての意見であり、発行者のエクイティ証券又は個人投資家が取得可能なその他の形式の証券について意見を述べるものではありません。

インド専用の追加条項：ムーディーズの信用格付、評価、その他の意見及び資料は、インドの証券取引所に上場されている又は上場が提案されている証券に関して、インドに所在するユーザが依拠又は使用することを意図したのではなく、また依拠又は使用するものではありません。

セカンド・パーティー・オピニオン及びネットゼロ・アセスメントに関する追加条項（「格付記号と定義」にて定義されています）：セカンド・パーティー・オピニオン（以下「SPO」といいます。）及びネットゼロ・アセスメント（以下「NZA」といいます。）は「信用格付」ではないことにご留意ください。SPO及びNZAの発行は、シンガポールを含む多くの法域では規制対象外の活動です。日本：日本におけるSPO及びNZAの開発及び提供は「信用格付業」ではなく「付随事業」に該当し、同国の金融商品取引法及関連法令に基づく「信用格付業」に適用される規制の対象外です。PRC：いかなるSPOも、（1）PRCの関連法令で定義されるPRCのグリーンボンドアセスメントに該当せず、（2）PRC規制当局に提出する登録届出書、募集要項、目論見書その他の文書に記載することはできず、又はPRC規制の開示要件を満たすために使用することはできず、及び（3）PRC内で規制目的のために又はPRCの関連法令で認められていないその他の目的のために使用することはできません。本免責条項の目的において、「PRC」とは、香港、マカオ、及び台湾を除く中華人民共和國本土をいいます。